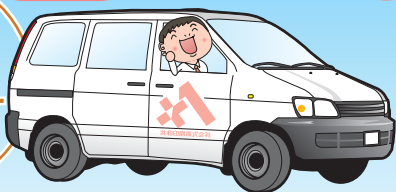


環境にやさしく 人にもやさしい プラスワン

キョーワくんレポート

VOL.2
秋号



カラーユニバーサル デザインを極める

これって本当に誰もが
ストレスを感じることなく
見やすいのかなあ？



例えばこんな色合い見たことありませんか？



一般的によく使われているのは
赤と黒で配色された「祭」のうちわ

この色分けでは、誰もが見やすいとは言えません！
では、見にくいと感じる人にはどういう風に見えて
いるのでしょうか？裏面をご覧ください！

キョーワくんの
豆知識 vol. 2

エコについて

しらべてなっとく！

リサーチ共和

印刷用紙をかえて
イメージを変えよう！



担 当

お気軽に
ご相談ください。

共和印刷株式会社 〒441-8042 愛知県豊橋市小池町36-1 Tel.0532-46-3281

カラーユニバーサルデザインを極める

現代社会の中で「情報」とは必要不可欠な物です。私たちは、その情報の8割以上を視覚から得ていると言われています。しかし、日本では男性の20人に1人、女性の500人に1人、日本全体では300万人以上の色覚異常の方がいると考えられています。

こうした方々を含むすべての人に情報がきちんと伝達できるように作られたデザインの事を、

「カラーユニバーサルデザイン」と言います。

では、どのようなデザイン、又は配色がされていれば、情報をきちんと伝達できるのか…。

ここでは、色覚異常の方の色の見え方からその改善方法までを紹介していきます。



少しの配慮で見やすさが全然違うんだね

カラーユニバーサルデザイン未対応



正常に見える方



色覚異常の方

一般的に、赤と黒、赤と緑、ピンクと水色、緑と茶色などは色覚異常の方には混同しやすい配色となっています。

カラーユニバーサルデザイン対応



正常に見える方



色覚異常の方

赤と黒は混同しやすい配色なので、赤の上に黒を配色するのではなく、白を使うことによって誰にでも見やすい配色になります。

「すべてのお客様へ正確な情報を。」

共和印刷では今回紹介したカラーユニバーサルデザインを駆使し、すべてのお客様へよりわかりやすく、より正確な情報伝達のできるデザインに取り組んでいます。



キョーワくんの

vol. 2

豆知識

エコについて

私たちが普段目にする印刷物の片隅に、何気なく掲載されているマーク。実はこれ、環境に配慮した紙またはインクを使用して、印刷物を作成しているといった認証マークなのです。そこで今回は代表的なものを紹介いたします。

●Rマーク(再生紙使用マーク)

R(リサイクル)マークは、古紙配合率を示すマークであり、環境ラベリング制度の一つに数えられています。古紙利用製品の利用促進や、古紙の需要増加を図ることを目的としています。併記してある数字は、配合率を表します。

R70

●SOYINK使用マーク

SOYINKとは、インクの油の成分の一部を石油ではなく大豆からとれる植物油で構成したインクのことです。このインクを使用している印刷物には、SOYINKマークを掲載することができます。また、インクと紙を分離させやすいため、印刷物を再生する際にリサイクルしやすく、従来の印刷インクに比べて環境に大変優しいものになります。

PRINTED WITH SOYINK



今回の豆知識

このようなマークが掲載されている印刷物は環境配慮商品です。これもエコ活動の一環です。



印刷用紙をかえてイメージを変えよう

今回の用紙は コート紙

コート紙はマットコート紙よりも艶があるので、写真の色合いを鮮明に再現する事が可能です。そのため、写真を多く使用するポスター・チラシ・カタログ・リーフレットなどの広告宣伝印刷物によく使用されます。

今回の用紙コート紙の再現性をこの写真で見てみよう!

次回は「上質紙」についてだよ。今回と同じ写真を載せるから色の再現性を比較してね。驚くような発見があるかも…。

